救急の日記念講演会　9/12

９月９日の「救急の日」にちなんだ記念講演会が町公民館で開かれ、町民ら約200人が参加しました。
札幌医科大学救急医学講座の成松英智教授が「中毒の救急」をテーマに、誤食による中毒の危険性や家庭での応急処置方法など講演しました。
成松教授は「子どもの中毒の原因第１位は、タバコの誤飲。１本で致死量になる場合も。誤飲した時、水を飲ませると吸収が早くなり危険」と注意を呼びかけ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

夏休み子ども作品展　9/7~8

町教育委員会による『夏休み子ども作品展』が町福祉センターで開かれ、小中学生が夏休み中に取り組んだ作品が展示されました。
出品は、町内小学校全校（６校）と三石中、静内中からで、菓子箱やペットボトル、木片、紙粘土などを素材にした動物や乗り物、手作りおもちゃ、貯金箱などアイディアいっぱいの工作のほか、図画や自由研究など、個性あふれる作品356点が展示されました。

第７回新ひだか町ふくしトピア　8/24

町社会福祉協議会による、福祉のお祭りイベント『第７回新ひだか町ふくしトピア』が町公民館で開かれ、家族連れなど大勢の町民でにぎわいました。
会場では、福祉団体の日ごろの活動を紹介するパネルや作品展示、紙芝居やペーパークラフトが楽しめる「あそびのコーナー」などが設けられました。
また、ステージショーでは、町内の腹話術サークル「雪んこ」が登場。腹話術やピエロパフォーマンスに、子どもたちは夢中で見入っていました。

ニュース フラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。

婚活ツアーｉｎ新ひだか　9/14~16

町内の独身農業後継者と、女性の出会いを応援する交流ツアー『婚活ツアーｉｎ新ひだか』が町内で開かれ、20代～40代の男女14名が交流しました。
ツアーでは、乗馬体験やトウモロコシの収穫体験、野外バーベキューのほか、男女グループによるカレーライス作りコンテストを実施。カレー作りでは、地場産の野菜をカットするなど協力しながら作業し、意中の相手と親交を深めました。３日間のツアーを通じて、４組のカップルが成立しました。

第３回二十間道路ハーフマラソン大会
第38回シベチャリマラソン大会　9/8

『第３回二十間道路ハーフマラソン大会』と『第38回シベチャリマラソン大会』が、静内川右岸スケートリンクを発着点に開かれ、町内外から男女424人が出場しました。
この日は、日中の最高気温が22.3度まで上昇。選手たちは汗ばむ陽気の中、沿道からの大きな拍手と声援を受けながら、各コースを力走し、タイムを競い合いました。

民音学校コンサート　8/28

財団法人民主音楽協会（民音）による演奏会『民音学校コンサート』が町公民館で開かれ、町内の中学生ら約700人が、プロの演奏を楽しみました。
民音は音楽文化の向上を目指し、毎年道内の小中学校でコンサートを開催。今回は、国内外で活躍するフルート奏者の大和田葉子さんと、ピアニストの塚本直美さんが共演し、エルガーの「威風堂々」や生徒からのリクエスト曲を披露しました。生徒たちは、繊細で美しい音色に聞き入っていました。

図書館・郷土館安全祈願　8/20

静内山手町３丁目の山手公園内に建設される図書館と郷土館の工事安全祈願祭が、同公園内で開かれ関係者ら約30人が出席し、工事の安全と施設の早期完成を願いました。
新施設は、図書館と郷土館が一つの建物として建設され、鉄筋コンクリート造り平屋建てで、延べ面積約2800平方メートル。平成26年11月末に完成の予定で、翌25年４月のオープンを目指しています。

民謡祭　9/16

「第37回日高管内道民芸術祭『民謡祭』」が町公民館で開かれ、日高管内５町から11団体が出演し、日ごろ鍛えた自慢ののどや演奏を披露しました。

歌笛老人クラブ環境整備　9/10

歌笛老人クラブ（安岡實夫会長）は、開村百年記念公園内にある記念樹のせん定、草刈り作業を行い、数十年間放置された公園に、美しい景観を取り戻しました。

新ひだかうまいもの市　9/8

町内飲食店９店舗でつくる「新ひだかＦｏｏｄ倶楽部」による『第１回新ひだかうまいもの市』が町公民館横野外ステージ前で開かれ、大勢の来場者でにぎわいました。

全道自治体職員野球大会　8/30~9/2

『第47回全道自治体職員等野球選手権全道優勝大会』が、古川公園野球場等で開かれ、全道各地から予選を勝ち抜いた28チームが参加し、熱戦を繰り広げました。